

第67回沖縄全島エイサーまつりの中止及び
代替イベントの開催につきまして

新型コロナウイルス感染症（以下「コロナウイルス」）の感染拡大により、療養されている全ての皆さまにお見舞い申し上げるとともに、医療体制が逼迫する中、懸命に命を支え続ける医療従事者の皆さまには、最大の敬意と深い感謝の意を表します。

さて、沖縄全島エイサーまつり（以下「全島エイサーまつり」）につきましては、コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、これまで第65回、第66回が中止となりました。

令和4年度 第67回沖縄全島エイサーにつきましては、年内の開催を目指し取り組んでまいりましたが、県内の医療体制が逼迫する中、1日あたり10数万人の参加が見込まれる全島エイサーまつりにおいて、十分な感染症対策の実施が難しいと判断し、誠に残念ではございますが、開催を^{みたび}三度中止することといたしました。

しかしながら、コロナ禍において、経済が甚大な影響を受け、国民生活にも大きな影を落とす中、まつり実行委員会では、エイサー文化の振興と青少年育成、地域の活性化を図るため、沖縄アリーナを会場として観客動員数を1万人以内に絞り、感染症対策を実施しながら、エイサーイベントを開催することといたしました。開催時期を、本年10月上旬とし、急ピッチで準備を進めてまいります。

また、まつり実行委員会オフィシャルサイトにおいて、エイサーナイト2022の動画を近日公開いたします。

本年6月13日、沖縄市は「エイサーのまち宣言」から15年目を迎えました。

コロナ禍の2年半、青年達は、ほとんどのエイサー演舞を披露する機会を奪われておりましたが、伝統の継承とエイサーへの熱い想いをうちに秘め、今年の旧盆では、多くの青年会が道ジュネーを行うことができました。

エイサーのまちの推進と、青年達が流麗に舞い、踊り、躍動する沖縄全島エイサーまつりの復活に向け、再び全力で取り組んでまいりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和4年8月26日

沖縄全島エイサーまつり実行委員会

実行委員長（沖縄市長） 桑江 朝千夫